

ウィニー(Winny)検知サービス Ver.2 操作マニュアル

V1.2.1



<< 目次 >>

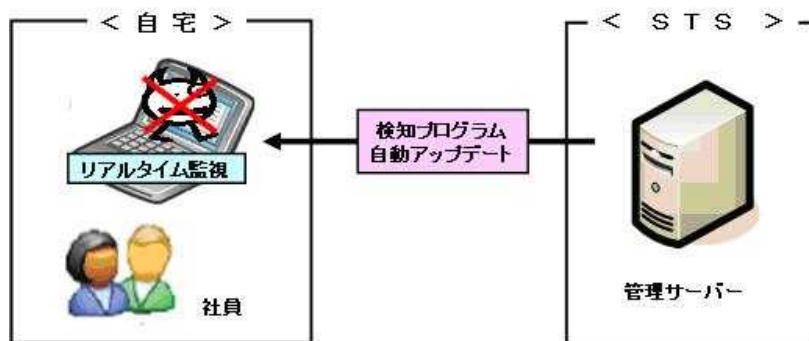
1 . はじめに	3
2 . 導入にあたって	4
2 - 0 . 事前準備	4
2 - 1 . インストール手順	8
2 - 2 . パスワードの変更	13
2 - 3 . 本サービスを導入できない場合	14
3 . リアルタイム監視	15
3 - 1 . リアルタイム監視とは	15
3 - 2 . 検知結果の表示	15
4 . 隔離処理	16
5 . スキャン(検索)	17
5 - 1 . クイックスキャン	17
5 - 2 . 詳細スキャン	17
5 - 3 . スキャンの中止	18
5 - 4 . スキャン結果の表示	18
6 . 履歴の確認	19
7 . アンインストール	20

1.はじめに

ウィニー (Winny) 検知サービスとは？

『ウィニー (Winny) 検知サービス』は、検知プログラムをインストールするだけで、Winny、Share、WinMX、BitComet など、7400 種以上のファイル交換ソフトが起動されそうになった場合、リアルタイムで検知し起動を阻止しますので、ファイル交換ソフトによる情報漏洩リスクを排除します。

また、新種のファイル交換ソフトに対しても随時検知ロジックが自動アップデートされるので安心です。



本サービスの動作環境

OS.....Windows 10 / 8 / 7 / Vista / XP SP2 以降 (いずれも日本語版)

CPU.....Intel Pentium4 1.30 GHz 相当以上

メモリ空容量.....256MB 以上

ディスク空容量.....インストール時 300MB 以上

Web ブラウザ環境...Microsoft Internet Explorer 7.0 以上

Windows10の場合、ブラウザのWindows edgeではインストールすることができません。

(「Internet Explorer」は画面左下のウィンドウマークをクリックし、すべてのアプリ =>Windowsアクセサリ=>Internet Explorerを選択し、ブラウザを起動してください)

Macintoshパソコンにはご利用できません。

Windows2000 以前の OS にはご利用できません。

マイクロソフトのセキュリティ対策パッチ等の提供が終了しており危険な状態ですので、早期に Windows Vista 以降に切り替えることを推奨します。

OS アップグレード時のご注意

ウィニー検知サービス導入済のパソコンで、Windows の OS をアップグレードする場合、一旦、ウィニー検知サービスをアンインストールして、OS のアップグレードを行って下さい。

OS のアップグレード後に、再度ウィニー検知サービスをインストールして下さい。

(注)本書では、Windows 7 での画面操作を中心に説明しています。

2. 導入にあたって

2-0. 事前準備

ブラウザ(Internet Explorer)の設定

ブラウザ(Internet Explorer)のActiveXを無効化されている方は、有効化を行う必要があります。

次の手順で有効化を行ってください。

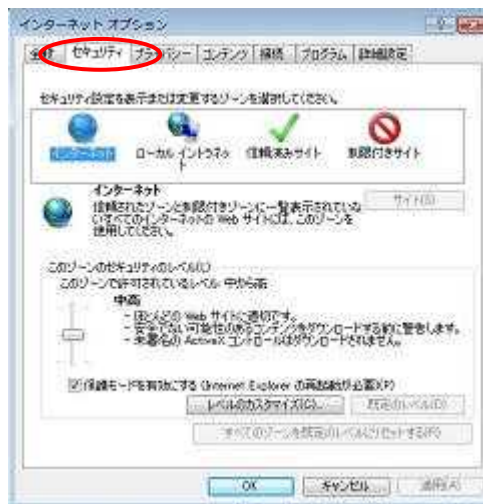
尚、現在の設定はメモしておき、検知プログラムのインストールが終了したら元に戻してください。

自宅のパソコンをインターネット環境に接続し、<https://mnge.e-kakushin.com/w-scan2/> にアクセスして下さい。

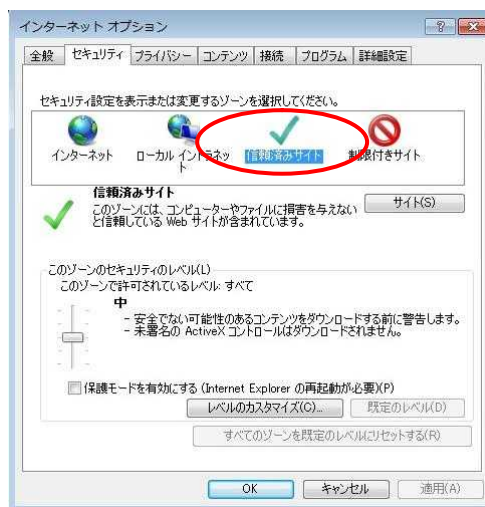
Internet Explorer のメニューの「ツール」を選択し、「インターネットオプション」をクリックしてください。



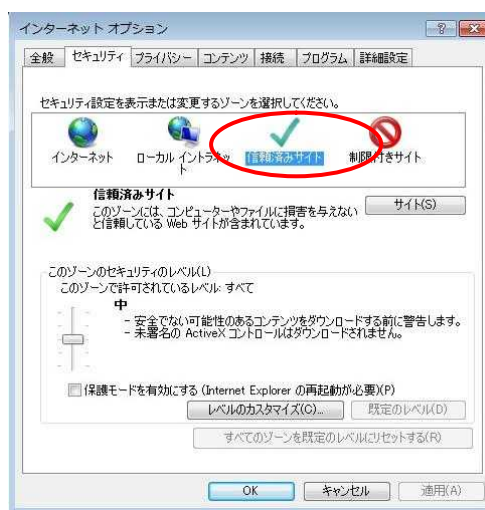
「セキュリティタブ」を選択してください。



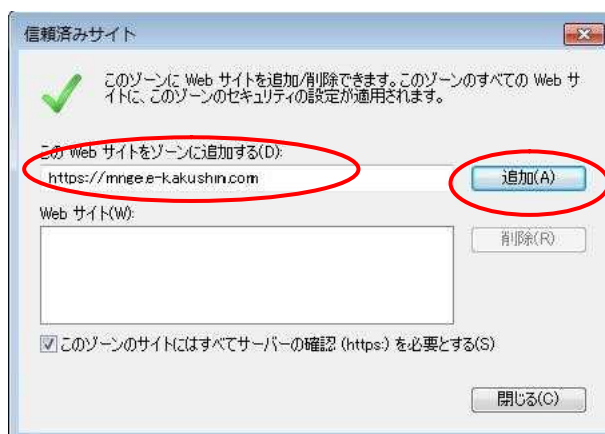
「セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。」の中から「信頼済みサイト」を選択してください。



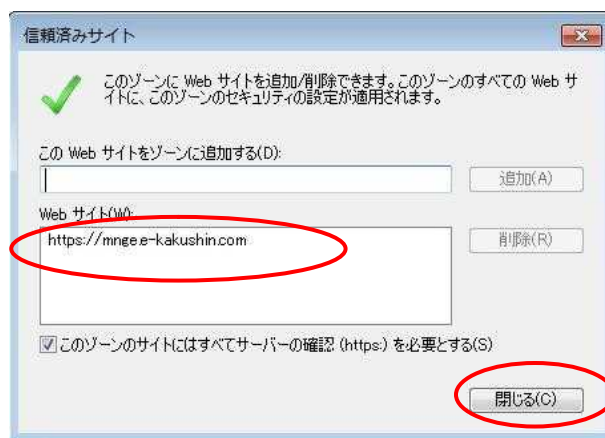
「信頼済みサイト」ゾーンを選択後、「サイト」ボタンをクリックしてください。



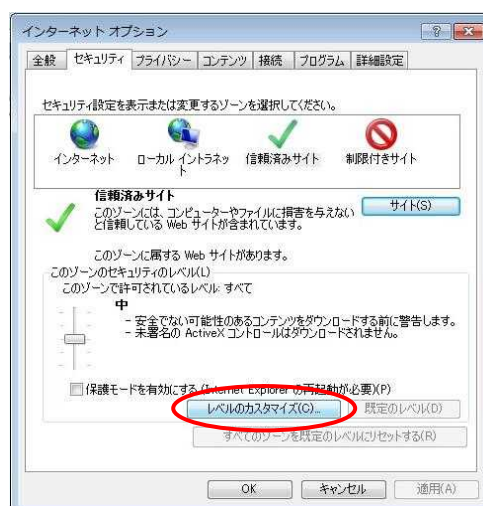
「この Web サイトをゾーンに追加する」テキストボックスに「<https://mnge.e-kakushin.com>」と入力後「追加」ボタンをクリックしてください。



「Web サイト」の一覧に「<https://mnge.e-kakushin.com>」が追加されていることを確認後「閉じる」ボタンをクリックしてください。

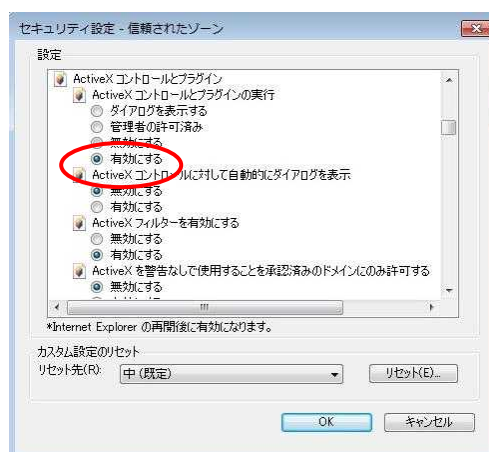


「セキュリティタブ」の「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックしてください。

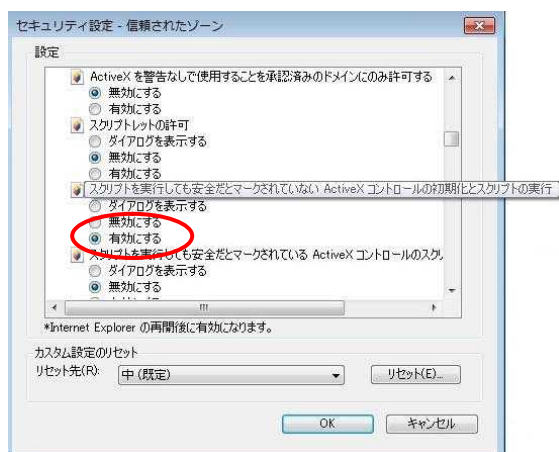


レベルのカスタマイズボタンクリック時、セキュリティ設定を表示または変更するゾーンは「信頼済みサイト」を選択したままの状態です。「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックしてください。

「ActiveX コントロールとプラグインの実行」の「有効にする」にチェックしてください。



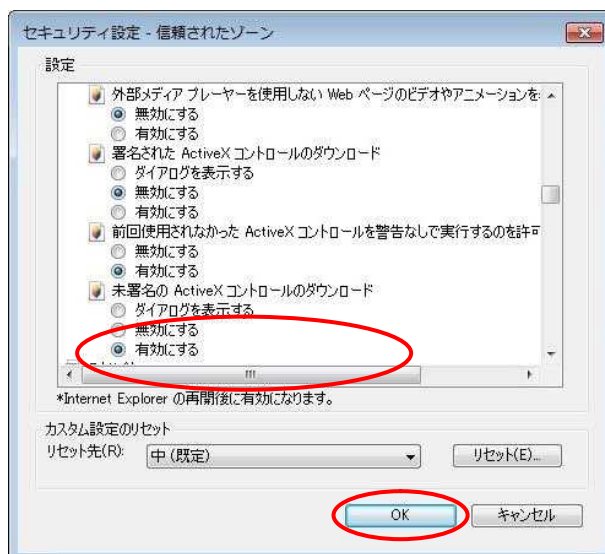
「スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行」の「有効にする」にチェックしてください。



「未署名の ActiveX コントロールのダウンロード」の「有効にする」にチェックし、「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック後 Internet Explorer を再起動してください。

以上で設定は完了です。メニューからインストールを行ってください。



2 - 1 .インストール手順

ご自宅でお使いのパソコンの動作環境をご確認の上、以下の手順にしたがって本サービスで必要な検知プログラムをインストールしてください。

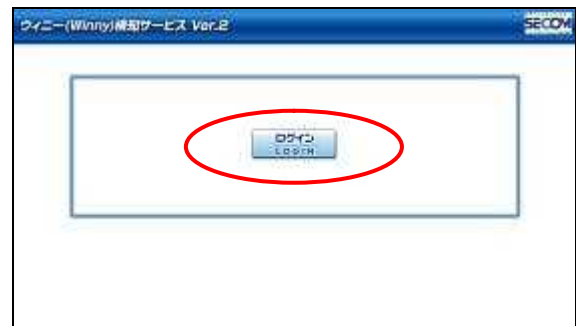
尚、インストールはアドミニストレータ(管理者)権限のユーザーにて実施してください。

【参考】インストールの所要見込み時間

- ・ひかり相当 (50Mbps) … 約 10 秒
 - ・ADSL相当 (30Mbps) … 約 20 秒
- 回線の混雑状況等で大きく異なります。

自宅のパソコンをインターネット環境に接続し、<https://mnge.e-kakushin.com/w-scan2/>にアクセスしてください。

「ログイン」ボタンをクリックしてください。



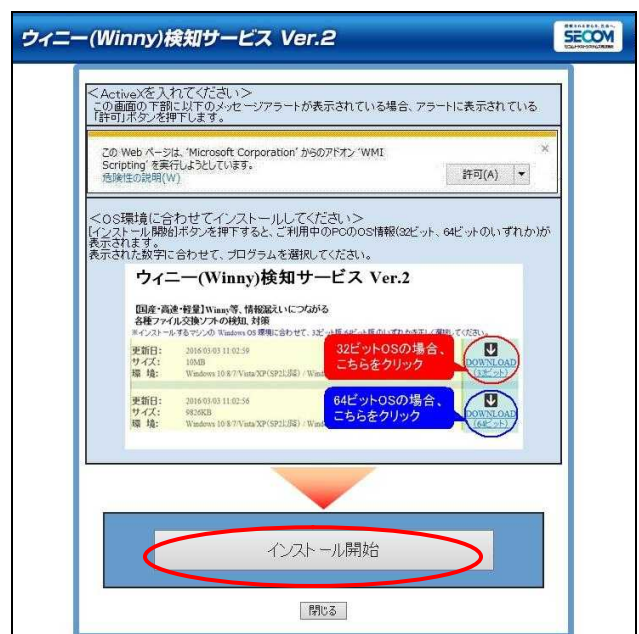
企業コード、ユーザーID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。



メインメニューの「検知プログラムのインストール」ボタンをクリックしてください。



インストール画面が表示されますので、「インストール開始」ボタンをクリックしてください。



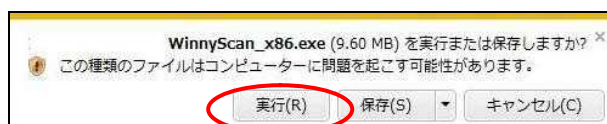
使用中の OS の種類(32 ビット or 64 ビット)が表示されますので、確認後 [OK] ボタンをクリックしてください。



で表示された種類に対応する「DOWNLOAD」リンクをクリックしてダウンロードしてください。



Internet Explorer9 以上の場合、画面下部に右のメッセージが表示されますので、「実行」を選択してください。



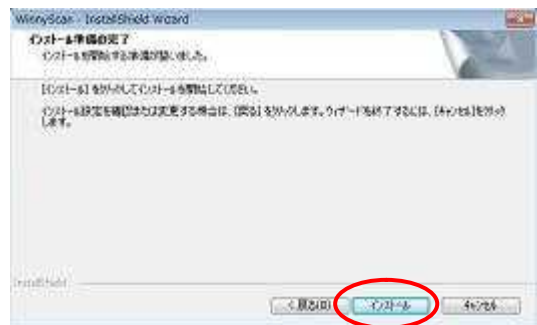
Internet Explorer7 と Internet Explorer8 の場合は右のメッセージです。



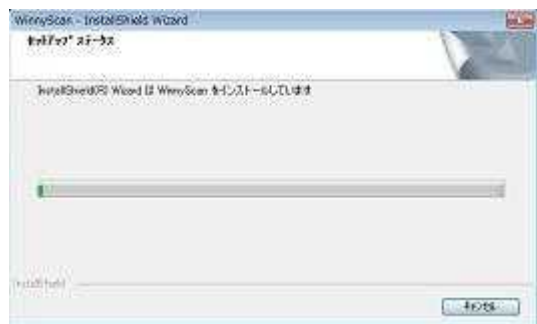
「セットアップへようこそ」の画面が開いたら、「次へ」ボタンをクリックします。



「インストール」ボタンをクリックします。



画面が変わり、インストールが進行しますので、暫くお待ちください。

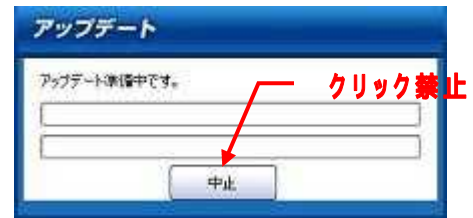


右の画面が表示されたら、インストール終了です。

「完了」ボタンを押してください。



インストール終了後、検知プログラムのアップデート画面が表示されます。この間、「中止」ボタンはクリックしないでください。処理が完了すると、この画面は自動的に消えます。



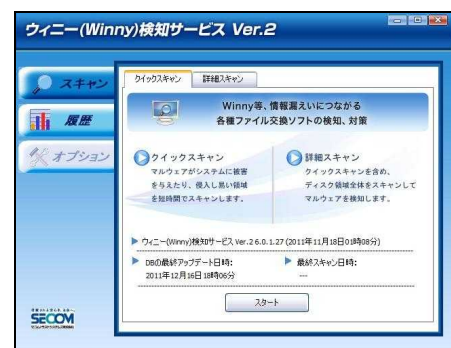
インストールが正常に完了すると、デスクトップ画面にショートカット用アイコン、及びタスクトレイにアイコンが作成されます。



< ショートカット >

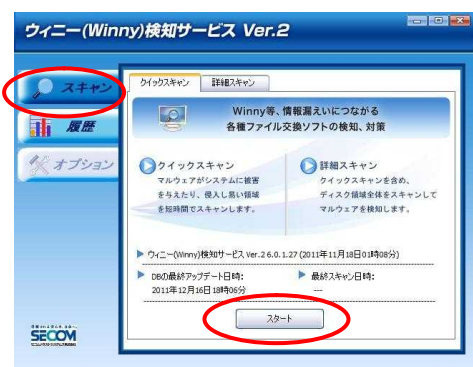
< タスクトレイ >

ショートカットアイコンをダブルクリックして、ウィニー検知サービスのメイン画面を起動します。



< メニュー画面 >

インストールが完了したら、「クイックスキャン」メニューの「スタート」ボタンをクリックして、ウィニー等の存在有無を確認してください。
(注) 詳細スキャンの必要はありません。



「クイックスキャン」はウィニー等が存在しやすい領域のみを短時間で限定的にスキャンします。

所要見込み時間は、概ね5～10分です。

スキャン後の操作については、後述の「5 - 1. クイックスキャン」を参照してください。

2 - 2 . パスワードの変更

パスワードの変更を行うことができます。

会社から通知される初期パスワードは必ず変更してください。

メインメニューの「パスワード変更」をクリックしてください。



各項目を入力して「更新」をクリックしてください。

また、パスワード忘れに備え、本人確認のための質問と回答を事前に登録することにより、パスワードを電子メールで受け取ることができます。



項目	入力	桁数	項目の説明
パスワード	必須	30	新しいパスワードを入力してください。 (デフォルトでは旧パスワードが入力されています)
パスワード確認	必須	30	確認のため新しいパスワードを再入力してください。 (デフォルトでは旧パスワードが入力されています)
パスワード忘れの質問	任意	50	パスワード通知機能を利用する際の本人確認用の質問を入力してください。(全角)
パスワード忘れの回答	任意	50	上記質問に対する回答を入力してください。(全角)
連絡先	任意	60	通知先のメールアドレスを入力してください。

2 - 3 . 本サービスを導入できない場合

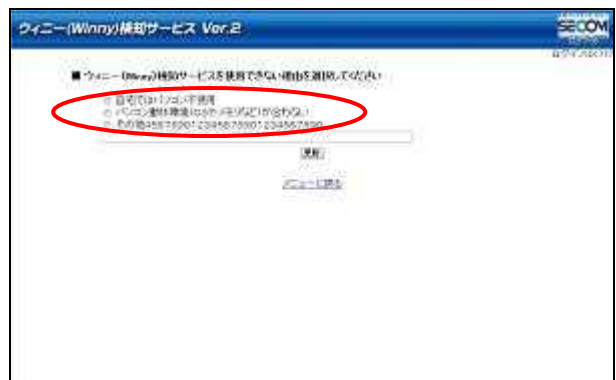
‘自宅でパソコンを持っていない’等、何らかの理由で本サービスを導入できない方は、その理由を以下の手順で登録してください。

メインメニュー右下の「こちら」をクリックしてください。



導入できない理由を選択してください。

‘その他’の場合はテキスト欄に具体的な内容を入力してください。



「更新」ボタンをクリックしてください。



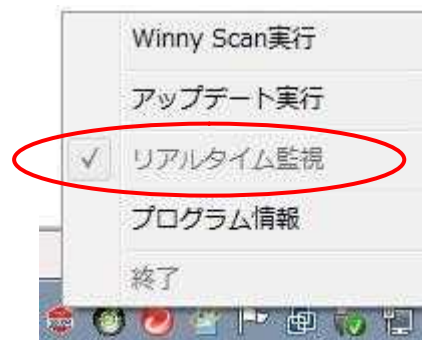
3 . リアルタイム監視

3 - 1 .リアルタイム監視とは

リアルタイム監視機能は、ウィニー(Winny)等の ファイル交換ソフトが起動されそうになった場合に、リアルタイムで検知して起動を阻止するものです。

本機能はパソコンの電源が ON の状態の時には常に有効となりますので、検知プログラムをインストールした後、ファイル交換ソフトは起動不能となり安心です。

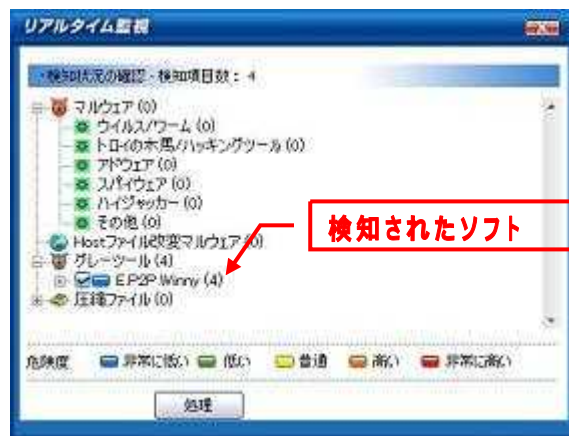
タスクトレイ上のウィニー(Winny)検知サービスアイコンを右クリックすると、メニューの「リアルタイム監視」にチェックが入ってグレースアウトしています。これは、リアルタイム監視機能が有効になっているということを表しています(変更不可)。



3 - 2 . 検知結果の表示

リアルタイム監視でファイル交換ソフトが検知された場合、右のような検知結果画面が表示されます。検知した時点でファイル交換ソフトの起動は阻止しているので安心です。

更に、検知されたファイル交換ソフトを無効化するには、後述の「4 . 隔離処理」を参照してください。



4 . 隔離処理

検知されたファイル交換ソフトを **圧縮・暗号化・分割した上でパソコン内の安全な領域に隔離することで、該当ソフトを無効化**します。

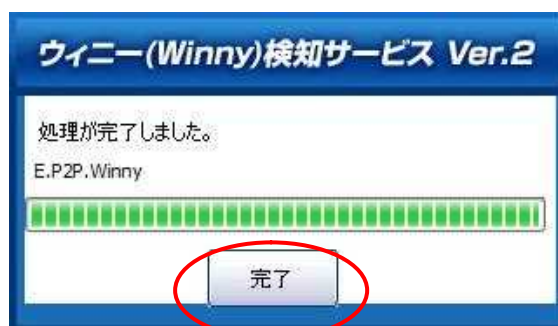
隔離処理を行わなくても、検知プログラムのリアルタイム監視機能によりファイル交換ソフトが起動することはありませんので安心してください。

検知結果表示画面で、隔離処理するファイルを選択します。

「処理」ボタンをクリックします。



隔離処理が完了すると以下の画面が表示されるので、「完了」をクリックして終了します。



検知プログラムのインストール後に、誤って新たなファイル交換ソフトを導入しようとしてしまっても、リアルタイム監視により検知されます。

5 . スキャン(検索)

本サービスでは、ファイル交換ソフトの起動をリアルタイムに監視するだけでなく、パソコン内のファイル交換ソフトの有無を任意にスキャン(検索)することが可能です。

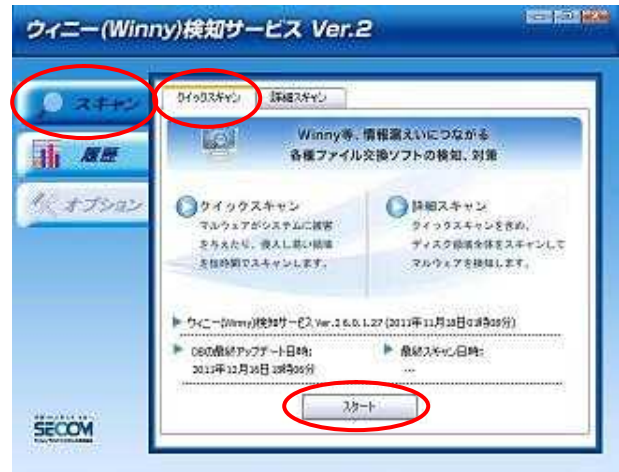
5 - 1 . クイックスキャン

クイックスキャンは、ファイル交換ソフトが存在し易い領域のみを短時間で限定スキャンします。

メニューの「スキャン」タブを選択します。

「クイックスキャン」タブを選択します。

「スタート」ボタンをクリックします。



5 - 2 . 詳細スキャン

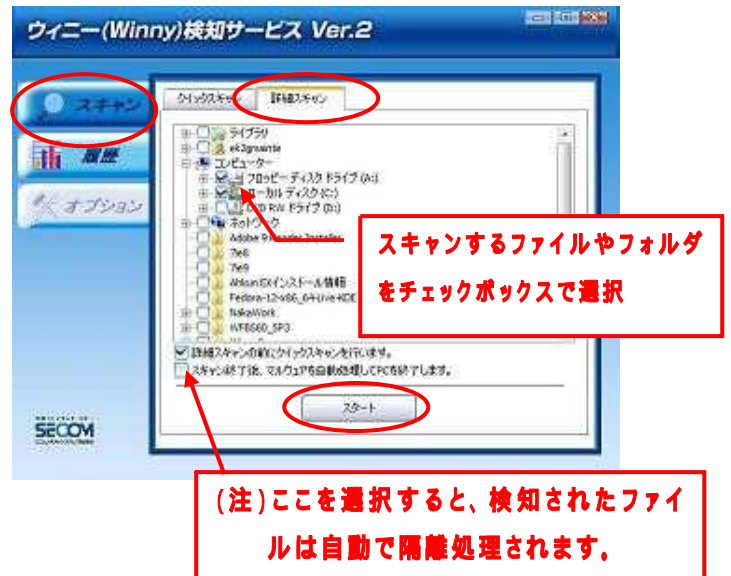
詳細スキャンは、ディスク領域全体に対してスキャンすることが可能です。また、フォルダを指定してのスキャンも可能です。

メニューの「スキャン」タブを選択します。

「詳細スキャン」タブを選択します。

スキャンするファイルやフォルダを指定します。

「スタート」ボタンをクリックします。



5 - 3 . スキャンの中止

スキャンを中止したい場合は、「中止」または「一時中止」ボタンをクリックします。

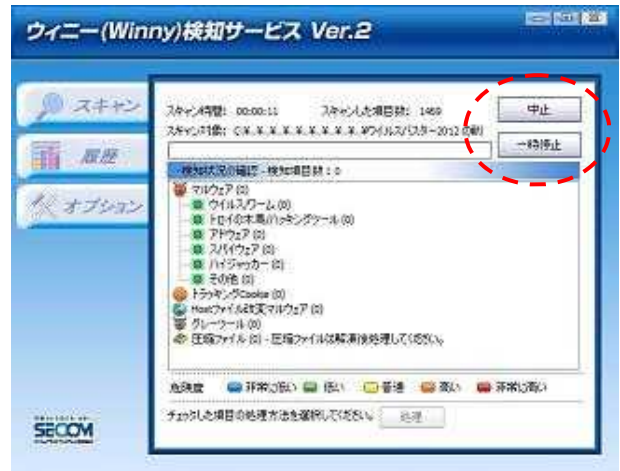
「中止」ボタン

すべてのスキャン作業が中止されます。

「一時中止」ボタン

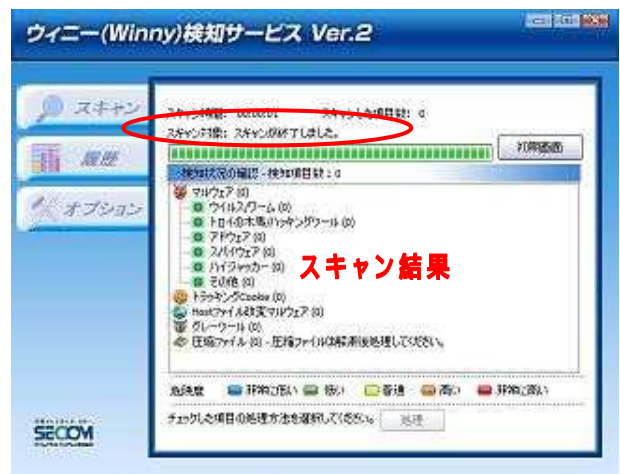
スキャン作業を一時中止します。

「再開」ボタンをクリックすることで、中断した時点からスキャンが再開されます。



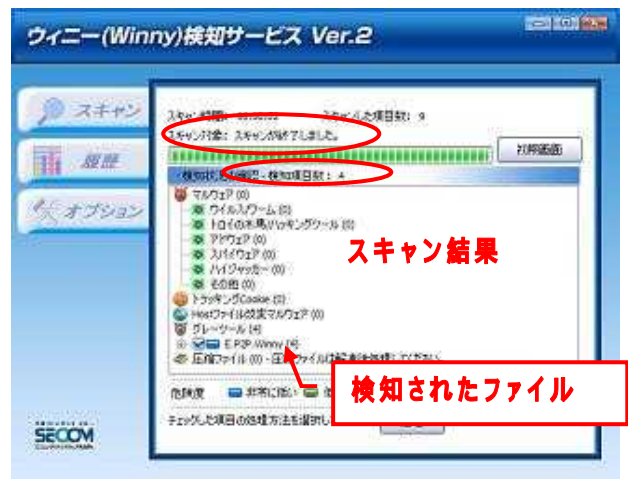
5 - 4 . スキャン結果の表示

スキャン完了後は、右の「スキャン結果」のようにスキャン結果が表示されます。



もしスキャンの結果、ファイル交換ソフトが検知された場合は、右の「スキャン結果」のように検知項目数と対象ソフトが表示されます。ファイル交換ソフトが検知された際の無効化については、前述の「4. 隔離処理」を参照してください。

尚、隔離処理を行わなくても、検知プログラムのリアルタイム監視機能によりファイル交換ソフトが起動することはありませんので安心してください。



6. 履歴の確認

検知されたファイル交換ソフトの情報と処理結果に関する履歴を確認することが可能です。

メニューから「履歴」タブをクリックします。

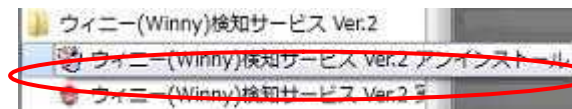
履歴を削除するには「クリア」ボタンをクリックしてください。



7. アンインストール

パソコンの買い替え / 廃棄 / 譲渡の際には、必ず検知プログラムのアンインストールを行ってください。

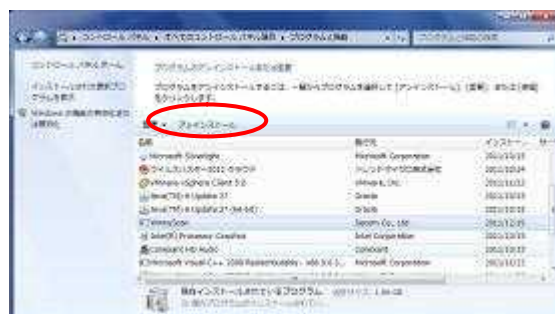
Windows の「スタート」メニューから「すべてのプログラム」「ウィニー (Winny) 検知サービス Ver.2」「ウィニー (Winny) 検知サービス Ver.2 アンインストール」をクリックします。



*Windows 8 以上の場合、「スタート画面」の「ウィニー (Winny) 検知サービス Ver.2 アンインストール」のアイコンをクリックします。

または

Windows の「スタート」メニューから「コントロールパネル」「プログラムと機能」から「WinnyScan」を選択して「アンインストール」ボタンをクリックします。

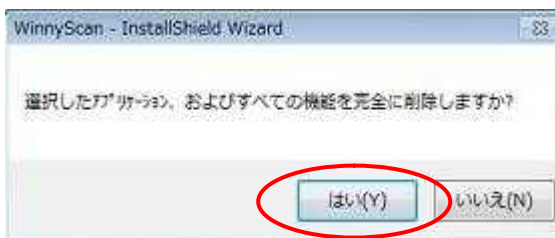


*Windows 8 以上の場合、「コントロールパネル」の「プログラム」「プログラムのアンインストール」から「WinnyScan」を選択してアンインストールします。

右の画面が表示されたら、アンインストールが開始するまでしばらくお待ちください。



アンインストール実行の確認画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。



アンインストールする際、過去に隔離したファイル交換ソフトや処理ログがある場合には、それらを削除するか確認画面が表示されるので、削除する場合は「はい」をクリック、削除しない場合は「いいえ」をクリックします。削除しない場合は、“C:\Program Files\secom\wscan2”フォルダ内にログファイルが残されますが、そのファイルは暗号化しているため、単独では中身を確認することはできません。



アンインストール処理中画面が表示されます。しばらくお待ちください。



アンインストール完了の通知画面が表示されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリックして終了します。

